



施設の概要
 所在地: 兵庫県神戸市中央区三宮町1丁目
 建築主: 神戸三宮センター街1丁目商店街振興組合
 設計・監理: KAJIMA DESIGN KANSAI / 鹿島建設(株)関西支店
 施工: 建築 / 鹿島建設(株)関西支店
 電気 / (株)きんてん
 構造・規模: 鉄骨造 全長 / 280m 幅員 / 11m 天井高 / 16m ~ 19m
 工期: 平成9年7月 ~ 平成10年3月

日々の活力を生み出し未来へと 飛躍する神戸三宮センター街

Kobe San-no-Miya Center Street, full of energy and desire for a great leap forward in the future

アーケード全体を照明器具に見たてた照明計画

Illumination plan for the entire arcade is designed to be viewed one uniform lighting equipment

1995年1月、突如として阪神地方を襲った地震は、神戸三宮地区にも多大な被害をもたらしましたが、街に残された爪痕も、多くの人々の熱意と努力でひとつひとつ復興へとその姿を変え、震災前の姿を取り戻しています。地震により倒壊した神戸三宮センター街のアーケードの再建は、三宮地区における人々の生活の交流の場の復興であり、被災者にとって復興へ向けての日々の糧となる活力を与えてくれるものとして、その完成が待たれていました。復興の目標として「未来の新しいモールとして、神戸の顔となり、また世界に対しそのイメージと街の情報を発信できるような画期的街造り」を掲げて平成10年3月に完成した神戸三宮センター街です。

アーケードは、神戸の森をモチーフにした立体トラスと架構を構造体として、屋根はテフロン膜とポリカーボネートを素材とした被膜で形成されています。照明は間接照明を主体とし、天井膜を投光器によってライトアップすることで、アーケード全体を照明器具に見立て、ベース照明としての間接光と、小型投光器による補助照明によって床面の照度を確保しています。間接照明用の投光器の光源には、HL-ネオルクス・Dを使用。被膜を通した昼間時の外光による白色のイメージが創り出す『大空の快適さ』に対し、ライトアップ時には、優しく暖かみのある光空間を形成することで、視環境に変化を持たせています。また、「港の風」「時の風」「宇宙の風」をテーマとしたモニュメントがそれぞれ設置された、タイマー設定により定時に開閉(スライド式と跳ね上げ式)する天井部には、HQLランプを光源としたRGBカラーフィルター付中角配光形投光器により、時間毎に異なる光色の演出照明で、モニュメントと天井開閉の建築コンセプトである『物語の連続性と未来への飛躍』を一層印象づけています。

照明コンセプト

Lighting design concept

アーケードの被膜をライトアップして、優しく暖かみのある光空間の創造
 「港の風」「時の風」「宇宙の風」をテーマにしたモニュメントを演出照明で効果的に展開



昼間時
Street view in day-time
外光がふりそそぐ、開放的な空間



夜間時
Street view at night
天井をライトアップする事で、間接照明をベース照明としている



アーケード屋根上部
Arcade roof viewed from above
光の帯が、町並みの景観に幻想的な表情を創出している



天井開口時
When the arcade ceiling is open
未来へはばたくかのように躍動感あふれる空間が創造されている



RGB演出照明
Respective RGB color images
天井に光のアクセントを印象付ける

主要照明器具一覧表

用途	器具名	形名	台数	ランプ
ベース照明	広角配光形投光器(間接)	HT-10058X	36	660W HL-ネオルクス・D 演色改善形高圧ナトリウムランプ)
		HT-2558X-200HW	26	220W HL-ネオルクス・D 演色改善形高圧ナトリウムランプ)
	中角配光形投光器(直・間接)	HT-1531MPK	148	150Wネオアーク(小形高演色性メタルハイドランプ)
演照明	中角配光形投光器RGBカラーフィルター付	MT-2533MPW KAI	90	250W HQLランプ